

みやざき木育

みやざき木育で育む6つの力

1. 樹と木のつながりを感じる
2. ものを大切にする心
3. 工夫する力
4. 根気ややる気
5. 協力する心、気づかう心
6. 地域をつなげる力



はじめに

～みやざき木育とは～

宮崎県は、30年以上スギ丸太の生産量が日本一になっていることを御存じでしょうか。木材は、伐って、使って、植えて、育てる循環で成り立っている持続可能な素材です。そして、この循環のそれぞれの場で働く人が大勢います。県では、「みやざき木育」に取組み、そこで働く人を育てることを目指しています。

「みやざき木育」では、幼少期から、日常で使う道具を木材で作リ、生活の中に取り入れながら、木とふれあい、木の良さを感じて欲しいと思います。この冊子では、成長段階ごとに難易度の異なる教材を5種類紹介します。

「みやざき木育プログラム」を通して、木や森と人の関わりを学んでいただければ幸いです。

もくじ

取組み方	3
STEP1	
1. 森の雫	5
2. 箸置き	9
STEP2	
3. チョコ船	13
4. マイ箸	17
STEP3	
5. ひなた箱	21
おわりに	25



取組み方

子どもの成長の段階に合わせて、紙やすりやのこぎりなど使用する道具や難しさが変わります。作る時の正しい姿勢やそれぞれの道具の使い方を学びながらステップアップしていきましょう。

【幼児期の取組み体系】

できることの
ステップアップ



Point

「道具は身体の延長」。子どもの体格に合った正しい使い方を学ぶことで、身体に無理なく安全に道具を使えるようになります。子どもの成長を促すとともに、小さい頃から「木」への理解を深めます。

保育者の皆様や先生方にも、日常保育の中で木工をする際の基礎知識を身につけていただきたいと思います。森林や木材に関する知識や道具の安全な使い方については「みやざき木育マイスター」が教えてくれます。

活動では、力を合わせて作り上げる喜びや達成感を味わえるよう地域の方にも関わって頂けると良いですね。

【みやざき木育マイスターとは】

県が進める「みやざき木育」の中心的存在で、県の施策・木材産業・木材に関する基礎知識・木工道具の安全な使い方を指導できる技術を学び、伝えるスキルを持つ人材です。

【みやざき木育マイスター紹介】

(県北エリア)



いえむら ゆか
家村 祐香 さん

木を使ったモノ作りに詳しい

(県央エリア)



おがた ゆきこ
緒方 由紀子 さん

サポーター活動から13年

(県南エリア)



ひきだ しょう
匹田 翔 さん

山のことに詳しい

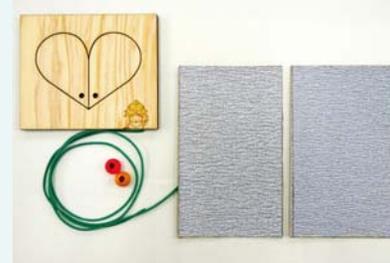
1 森の雫



「森と水のつながり」を知り、
自然への感謝の心を
育ててほしい



使用樹種：スギ



[森の雫 教材キット]
・本体
・紙やすり (150番, 220番)
・ビーズ・紐



板から外す前は、
♡のカタチ。



板から外すと、
2つの雫。



出来上がり見本



【時間】 1時間半程度
【人数】 20名の場合
指導者1名
サポーター3名
【対象】 3歳児～

【準備するもの】
・新聞紙
・オイル (えごま油など)
・ウエス (布切れなど)



森と水の関わりや「水」の大切さを伝えます。

また、身につけるものとして、願いを込めてつくるよう促します。

森の雫づくりを始めます。

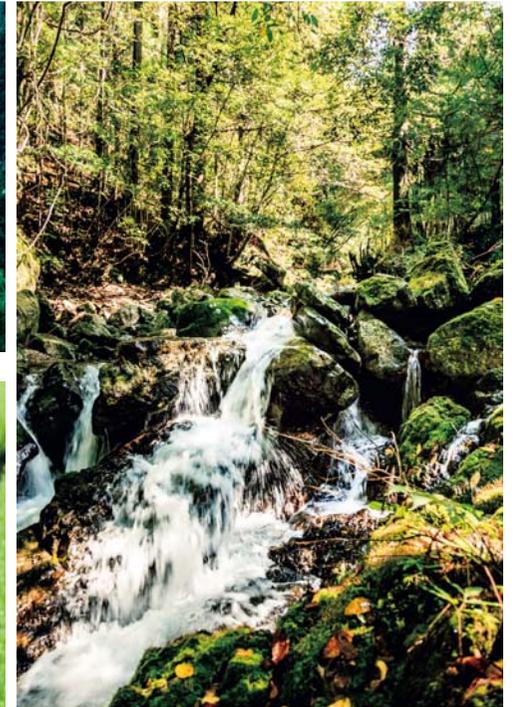
1. 板から雫を切り離します。
2. 紙やすりを使って順番（150番→220番）に、森の雫の輪郭を削り、自分の好きな雫の形になるまで削ります。
▶▶途中で匂いを嗅いだり、ザラザラやツルツルの手触りを確認するように促します。
3. オイル（えごま油など）をウエス（布切れなど）に少しつけ、雫に塗って仕上げます。
4. 紐を通し、ビーズをつけて完成です。



どんな願いを込めたか、感想を聞くなど振り返りを行い、完成した雫を大切に使うよう促します。また、片付けもしっかりと子どもたちとともに行いましょう。



みやざきの森林



森林から出てくる豊かな水



スギのコンテナ苗

森林は、きれいな水を作り出します。県の森林面積のうち、なんと約77%が人の手で植えられたものです。林業で木を守り育てることは、きれいな水を守ることに繋がります。



苗木の植え付け

2 箸置き



森の恵みを生活に取り入れる
きっかけとしてほしい



使用樹種：スギ



- [箸置き 教材キット]
- ・箸置き△□
 - ・紙やすり (150番, 220番)
 - ・丸棒

三角柱または四角柱の
どちらかを選べます。



出来上がり見本



治具 ※別売り



紙やすりで削る作業を行うときに、
箸置きをつかんで削りますが、つか
む力がない園児は、治具を使うと
スムーズに削ることが出来ます。



- 【時間】 1時間半程度
【人数】 20名の場合
指導者1名
サポーター3名
【対象】 3歳児～

- 【準備するもの】
- ・新聞紙
 - ・オイル (えごま油など)
 - ・ウエス (布切れなど)

はじめ

配膳の仕方と、箸置き役割を伝え、食の大切さを伝えます。

箸置きづくりを始めます。

1. △、□のかたちのどちらかを選びます。
2. 丸棒に紙やすり（150番）を巻き付け、箸を置く部分を削ります。
3. 220番の紙やすりで、面取りと全体の磨きを行います。
4. オイル（えごま油など）をウエス（布切れなど）に少しつけ、箸置きに塗って仕上げます。

なか

材料の木について話し、箸置きの材料が建具と同じ作り方で準備されたことを伝え、木が生活の中にあることを伝えましょう。

おわりに



子どもたちが、
大人の力を借りて、
配膳について考えるよう促し、
実際に置くことで、
基本を身につける機会にもなります。



柾目の材料を使った障子



建具を作る職人

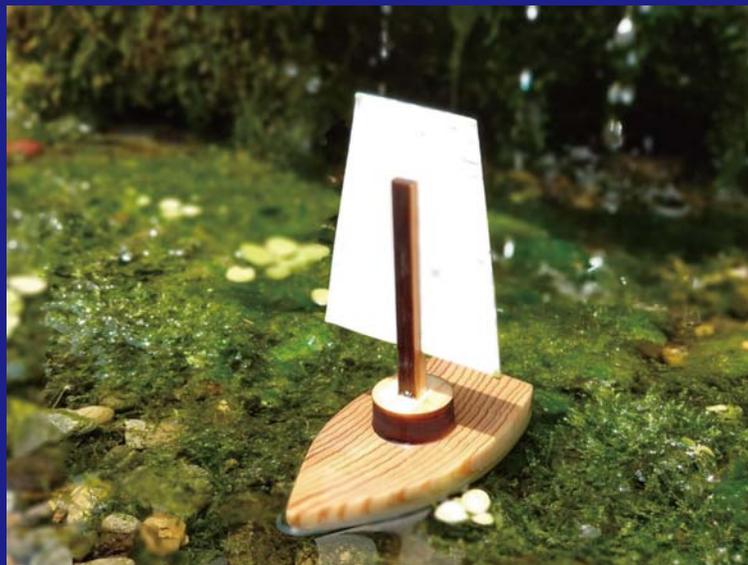


柾目は木目がほぼ平行に並ぶので反りや割れが少ない

建具は、玄関のドアや部屋の扉やふすま等、家の開口部に取り付けられる仕切りの総称で、生活する空間を作り出す大切な日本の文化です。

建具には反りや狂いが少ないまっすぐな木目である良質な「柾目」の材料が必要で、建具職人はそのような木の性質を理解して建具を作っています。

3 チョロ船



みやぎきの
木の文化を知り、
みやぎきを誇りに感じて
もらいたい



使用樹種：スギ



[チョロ船 教材キット]

- ・^{すじか}筋交いの教材
- ・帆立て□○
- ・紙やすり（150番, 220番）

帆立ては、□と○の
2種類から選びます。

帆はキットには含まれません。
牛乳パックなどで事前の
ご準備をお願いします。

^{すじか}筋交いの廃材を、
船の形にカットしています。
※木材を切るところから学びます。



【時間】 1時間半程度
【人数】 20名の場合
指導者1名
サポーター3名
【対象】 4歳児～

[準備するもの]
・新聞紙 ・両刃のこぎり
・クランプ、あて木
・帆（牛乳パックなど）
・マジック
・ミニプール

はじめ

みやぎきの木の文化「千ヨロ船」を紹介し
オビスギの特徴をお話します。

1. のこぎりの扱い方・使い方を教えます。
2. 端材などで試し切りをします。
▶▶船の厚さ（1.5cm～2cm程度）で切るように
にしましょう。
3. 本番用の木を切ります。
4. 紙やすりを使って順番（150番→220番）
に、千ヨロ船の輪郭を削り、丸みを帯び
た船の形になるまで削ります。
▶▶時間がない場合は、削りは日常保育で行いま
しょう。
5. 予め作っておいた帆を帆柱につけ、材料の
もとである「^{すじか}筋交い」について伝えます。

なか

おわりに

オビスギについて振り返り、材料の
もとである「^{すじか}筋交い」について伝え
ます。



クロスになっている部材が「^{すじか}筋交い」



プレカット(注1)された木材



木材住宅の部材を作るプレカット(注1)工場

^{すじか}筋交いは、耐震性を高める役割
で木造住宅に欠かせない部材です。
地震大国日本において、建物が
倒れないように支えてくれています。

(注1) プレカットとは、住宅建築に使用する木材を
事前に工場で切断したり、加工することです。

4 マイ箸



箸づくりを通して
木でつくることを
『日常』に



使用樹種：ヤマザクラ



[マイ箸 教材]
・本体



墨付け治具 ※別売り



お箸に墨付けを行う場合は、
治具を使うと簡単に墨付けを
行うことができます。



「日常保育」の中で継続して行う
プログラムです。木育を日常に
取り入れるきっかけですので、園
や園児に合った方法で6か月程度
で完成することを目指し、少しずつ
プログラムを進めてください。



日常保育の中で継続的に実施
【時間】約3ヶ月～半年
【対象】4歳児～

[準備するもの]

- ・新聞紙 ・両刃のこぎり
- ・Lクランプ ・あて木
- ・下敷き板
- ・鉛筆またはシャープペンシル
- ・紙やすり 150番, 220番,
320番, 400番, 600番
- ・両面テープ(紙やすり固定用)
- ・マスキングテープ
- ・スポンジブロック(約3cm)
- ・オイル(えごま油など)
- ・ウェス(布切れなど)



材料や箸の役割を伝え、食の大切さやヤマザクラの特徴をお話します。

箸づくりを始めます。

1. 中心線の墨付けをします。
2. 長さを決めます。(のこぎりを使用)
▶▶箸の長さは[一咫半(ひとあたはん)]
一咫…親指と人差し指を直角に広げた時の、
人差し指の先から親指の先までを結んだ長さ。



3. 150番の紙やすりで、成形を行います。
4. 220番で全体を磨き上げた後に面取りをします。
5. 320番、400番の順でそれぞれ全体を磨き上げます。
6. 水引をします。
7. 600番で最終仕上げ磨きを行います。
8. オイル(えごま油など)をウエス(布切れなど)に少しつけ、箸に塗って仕上げます。



成形から塗装までの作業がお手入れの方法でもあることを伝えましょう。

(宮崎県の県木)



フェニックス



ヤマザクラ

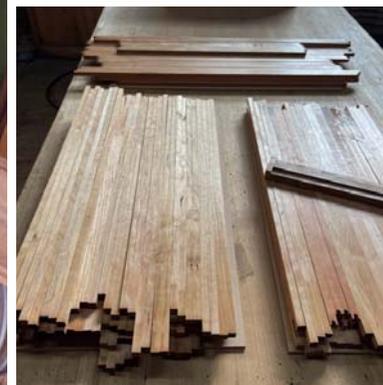


オビスギ

宮崎県の“県の木”に制定されている木は、「フェニックス」「ヤマザクラ」「オビスギ」の3つです。その中でも、お箸の材料に使われているヤマザクラは、堅くて水に強く、見た目にも木の表情や色合いが綺麗で、日本が世界に誇る美しい木の1つです。



箸の材料となるヤマザクラ



5 ひなた箱



木が“生き物”で
あったことを感じ
長く大切に使ってほしい

使用樹種：スギ・ヒノキ



[ひなた箱 教材キット]

- ・本体部材
- ・蓋部材
- ・釘
- ・ダボ



日常保育の中で継続的に実施

【時間】半年～1年

【対象】5歳児～

[準備するもの]

- ・新聞紙
- ・両刃のこぎり
- ・Lクランプ
- ・あて木
- ・げんのう
- ・釘しめ
- ・木工用接着剤
- ・バケツ
- ・筆、へら
- ・鉛筆またはシャープペンシル
- ・紙やすり 150番, 220番
- ・スポンジブロック (約3cm)
- ・オイル (えごま油など)
- ・ウェス (布切れなど)



はじめ

げんのうの練習をしましょう。
仮の組み立てをして、完成を
イメージしましょう。



本体の組み立て
本体のダボ切り→研磨
蓋板の塗装
本体素地調整+仕上げ
本体の塗装
蓋の素地調整+仕上げ
蓋の組み立て
蓋の塗装



なか



組み立てる時は、
木表・木裏の確認と、
上下やズレに注意しましょう。



木工用接着剤は量に注意して、
へらを使って伸ばしましょう。
はみ出した木工用接着剤は、
ウエス（布切れなど）で
拭き取りましょう。

どこが上手に出来たか、
どこが難しかったか、
どんなふうにするかなどを
振り返りましょう。



おわりに



山から伐り出された丸太



木取り(注1)の製材



家具作りの職人



スギで作られた家具

木材は、木を無駄にしないように製材され木取り(注1)をする段階で適材適所に配置・加工して、木材の価値を高めています。

(注1) 木取りとは、丸太から木材を効率的かつ品質を保ちながら加工するための工程を指します。

おわりに

「みやざき木育」では、植物として生きている「樹」と家具などに使用される木材としての「木」のつながりを感じながら物作りする中で、工夫する力や、やりとげる力を育て、木に対する愛着心を育みます。

また、お友達や先生、地域の方と一緒に仲良く協力して作業することは、やさしさや、思いやりを育み、心の豊かさを育むことでしょう。

道具が使えるようになれば、子ども自身が自由に表現することへの発展も期待できます。

「みやざき木育」を通して、子どもの成長を感じていただければ幸いです。

監修者より

“「生きものの命をいただいている」”

どれだけの人がそれを意識して生活しているでしょうか。

肉や魚という食材を目にすると命をいただいていることを意識しやすいですね。

しかし、家具や家に使われている木材も大地に根を下ろしていた時は「生きもの」だったのです。

そして、それを利用している人間も「生きもの」。

つまり私たち人間も地球上の自然の一部分なのです。そう考えると、私たちは食べものだけでなく暮らしの中でも「生きものの命をいただいて」生きられていることを意識できるのではないのでしょうか。

宮崎県の山は、なんとその4分の3は人が暮らしていくために植えた「人工林」です。

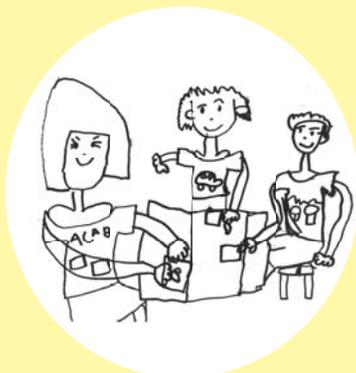
宮崎県の山のほとんどを、林業の皆さんが持続可能を目指し守ってくれています。

だからこそ、日本でも有数の林業・木材産業が盛んな県なのです。山の状態が持続可能であるためには、林業・木材産業に関わる人材を守っていかなくてはなりません。

「みやざき木育」に関わることで、このようなことを考えるきっかけになれば幸いです。

松井 勅尚（クリエイター，元岐阜県立森林文化アカデミー教授）

吉田 理恵（musubi 代表，岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師）



■ 発行・制作

みやざき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会

（ 宮崎県山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室 TEL 0985-26-7156 ）
（ 公益社団法人 宮崎県森林林業協会 TEL 0985-27-7682 ）